

平成 23 年 12 月 1 日（木）ホテル日航ノースランド帯広において、農研機構北海道農業研究センター主催、NPO 法人グリーンテクノバンクなどの後援で、「耕畜連携による濃厚飼料の安定的自給生産技術の重要性と今後の展開」～ 新技術「エアコーンサイレージの生産利用技術」普及のための改善方向 ～が開催された。

飼料原料用穀物輸入担当である全農飼料課長より輸入穀物価格を取り巻く現況についての講演を受けて、エアコーンサイレージの生産利用技術研究の進捗状況と成果に関する 3 題の講演が行われた。次いでパネルディスカッションを行い、エアコーンサイレージ生産を畑作農家が行うための導入条件や畜産農家の利用上での課題等が論議された。

「エアコーンサイレージの生産利用技術」は大規模畑作地帯において耕畜連携で濃厚飼料を生産利用する技術体系であるため、道内を初め、道外からの参加者もあり、生産者、普及センターや農協等の普及機関およびマスコミ関係者など 164 名の参加があった。

